

1 平成27年度 墨田区学習状況調査速報値

平成27年7月21日
墨田区立本所中学校

教科	観 点	墨田区学習状況調査結果						全国学力・学習状況調査	
		第1学年		第2学年		第3学年		3年A	3年B
		目標値	本校平均正答率 全国平均正答率	目標値	本校平均正答率 全国平均正答率	目標値	本校平均正答率 全国平均正答率	本校平均正答率	全国平均正答率
国語	国語への関心・意欲・態度	69.4	75.4 70.2	70.0	77.9 73.4	70.0	77.3 71.1		
	話す・聞く能力	70.9	76.7 72.3	75.0	79.9 78.6	78.8	84.6 82.6		
	書く能力	65.0	71.2 64.5	70.0	81.4 73.5	65.8	75.6 65.2		
	読む能力	64.1	70.9 64.0	53.2	54.2 53.1	56.7	56.7 57.1		
	言語についての知識・理解・技能	66.4	72.6 65.6	64.0	61.4 64.5	73.6	80.3 76.1		
社会	社会的事象への関心・意欲・態度	53.3	66.6 59.9	50.4	53.6 54.6	50.4	51.1 51.1	※全国学力・学習状況調査の結果につきましては、10月20日までに公表する予定です。	
	社会的な思考・判断・表現	53.4	64.9 58.3	50.4	53.6 54.6	51.0	51.5 51.2		
	資料活用の技能	60.8	70.5 64.0	55.0	51.4 52.6	58.0	55.5 55.0		
	社会的事象についての知識・理解	59.9	68.6 63.2	58.6	55.5 57.3	57.4	57.8 55.8		
数学	数学への関心・意欲・態度	57.9	62.9 58.9	52.5	50.0 53.1	46.7	47.8 47.4		
	数学的な見方や考え方	58.1	64.4 59.1	54.0	51.4 55.1	49.5	49.7 50.1		
	数学的な技能	72.5	79.3 73.7	60.6	61.0 61.2	61.8	63.6 62.9		
	数量や図形などについての知識・理解	64.4	67.2 65.6	59.1	56.8 59.4	56.7	56.2 57.6		
理科	自然事象への関心・意欲・態度	61.5	64.1 62.1	54.8	52.5 53.6	54.2	49.9 53.9		
	科学的な思考・表現	58.1	64.9 58.3	53.3	51.1 52.7	52.2	47.4 52.0		
	観察・実験の技能	66.2	70.5 64.0	57.3	60.9 58.4	61.0	51.4 59.1		
	自然事象についての知識・理解	70.0	68.6 63.2	58.6	58.2 58.0	57.4	53.2 57.6		
英語	コミュニケーションへの関心・意欲・態度			64.3	70.8 66.6	65.7	73.9 68.5		
	外国語表現の能力			50.9	54.5 53.0	48.8	59.0 50.3		
	外国語理解の能力			66.1	71.8 68.1	71.1	76.8 73.5		
	言語や文化についての知識・理解			57.1	55.8 56.2	61.7	68.2 60.6		

- 1) 目標値：学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した生徒の割合を示したもの。観点ごとの目標値は、設問ごとに設定された目標値をもとに算出されている。
- 2) 平均正答率：正答率の平均値のこと。観点における学年のデータとして用いる際は、その観点の全設問における学年集団の正答率の平均値。なお、正答率を算出するうえで、記述・論述式問題の準正答（部分点）については、正答数を0.5として換算している。

2 区調査結果の分析

◇良い点	<ul style="list-style-type: none"> ・国 語：2学年の「言語についての知識・理解・技能」以外全学年、各観点で目標値を上回っている。特に1年生は、5観点すべて5ポイント以上となっている。 ・英 語：2学年の「言語や文化についての知識・理解」以外2・3学年、各観点で、目標値を5ポイント上回っている。
◆課題点と改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・数 学：2学年の「数量、図形などについての知識・理解」では、目標値を5ポイント下回っている。問題練習を通して、必要な計算や平面や立体の空間認識を高める指導を行う。 ・理 科：3年は、昨年度「観察・実験の技能」の平均正答率が低い数値であったが今年度は、50ポイントまで回復した。自然事象や科学的な課題等を取り入れ、理科への興味関心が高められた。これからも実生活との関わりを重視した指導法の研究を進めていきたい。 ・社 会：2学年の「資料活用の技能」が目標値を3ポイント下回っている。授業の中でも教材として資料を提示し、定期考査等のテストでも、資料を活用した問題を作成し、取り組ませる。

※今後、調査結果の詳細な分析を行い、「学力向上を図るための全体計画」（学校としての授業改善プラン）を10月20日（予定）までに公表いたします。